

国際ロータリー第2570地区

# 行田ロータリークラブ

RI会長：ジョナサンB.マジアベ / ガバナー：高山 孝

会長：湯本茂作 / 幹事：小林一好

クラブ会報委員会

委員長：石渡健司 / 副委員長：大谷浩一  
委員：真貝俊英、諸貫健一

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

2003～04 国際ロータリーのテーマ  
「手を貸そう」



Lend a Hand

第1874回 さきたま火祭り例会 (5月4日)

## さきたま火祭り



埼玉県名発祥の地、行田市埼玉（さきたま古墳公園）にて、第19回さきたま火祭りが開催されました。

わが行田ロータリークラブは、姉妹クラブの白河ロータリークラブをお招きしての、合同例会を行いました。



本年もお祭り広場にて郷土芸能や物産展、フリーマーケット、フォトコンテスト等、盛り沢山のイベントが行われ、夕闇が迫るころには勇壮な音楽に合わせて300名近くの古代衣装を身につけた地元の人々が、ニニギの命、コノハナサクヤ姫を先頭に松明をかかげての行列、そして産屋炎上、続いて丸墓山、稲荷山からの御神火下りと、手に汗を感じさせる祭りとなりました。そして春の夜空を焦がすほどの花火でフィナーレとなりました。

ここでひとつ火祭りの由来に関して触れさせていただきます。

古事記によれば、天孫邇々芸命（てんそんににぎのみこと）が大山津見神（おおやまつみかみ）の娘、神阿多都比売命（かみのあたつひめのみこと）、またの名を木之花佐久夜毘売命[木花開耶媛]（このはなさくやひめのみこと）と婚姻しました。ニニギノミコトに一夜の交わりで妊娠したのを疑われたコノハナサクヤヒメは、疑いを晴らすために産屋に火を放ってその中で火照命（海幸彦）、火遠理命（山幸彦）を生んだとあります。「火祭り」命名はこの故事によるものだそうです。

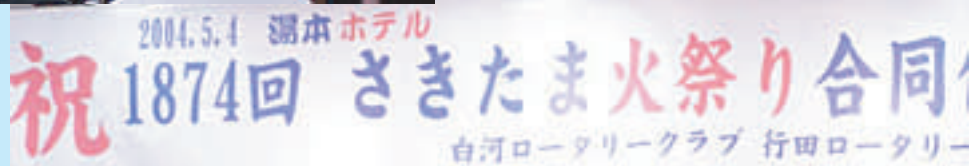




さて行田・白河2グループにて火祭りを心ゆくまで堪能した後、湯本ホテルに戻りましての夜間例会です。

富田会員による司会進行にて始まりまして。わが行田ロータリークラブ湯本会長の挨拶、白河ロータリークラブの会長挨拶。そして白河ロータリークラブパスト会長の挨拶です。

次に行田市さきたま地元の今井議員、漆原議員、吉田議員の挨拶をへて、渡辺会員による乾杯の音頭にて、懇親会へと移りました。その後お忙しい中、行田市長様にも駆けつけて来て頂きまして、ご挨拶を頂きました。



最後に、行田ロータリークラブ時期会長の黒淵会員による閉会の挨拶によって、行田白河2クラブによる合同例会を終了とさせて頂きました。尚、今回は夫婦同伴での合同例会となりましたが、行田ロータリークラブからも沢山のご婦人に出席して頂きまして、火祭りの方では大変お世話になりました。本当にどうもありがとうございました。

# 懇親会



## 出席報告

正会員数	74名	内義務規定出席者	3名
出席免除者	13名	メイクアップ	6名
本日の出席者	44名	出席率	77.05%